

健康的な生活を支える看護

－多様な課題の解決に向け、課題発見・解決能力の育成を目指した授業改善－【看護／老年看護】

1 はじめに

近年、高齢化に伴う在宅医療の推進やグローバル化の深化、ダイバーシティを推進する企業の増加といった変化により、医療の現場においてもさまざまな対象や多重課題に対応できる看護実践能力をもった医療従事者が求められている。新学習指導要領においては、看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域や社会の保健・医療・福祉を支え、人々の健康の保持増進に寄与する職業人として必要な資質・能力を育成することを目指しており、これまで以上に看護に関する多様な課題を発見する力や問題解決を図る力が求められている。それらを受け、高齢者の生活に関わる多様な課題を知り、高齢者の健康的な生活を支える看護について共同学習を通して理解を深め、さまざまな対象や多様な課題に対応できる力の育成が重要であると感じ、授業改善を試みた。

2 年間指導計画（老年看護 1 単位 35 時間）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	第1章 老年期の生活と健康(9時間) [臨地実習]					第3章 高齢者の生活と看護(15 時間)			第2章 高齢者の保健医療福祉の動向 第4章 高齢者の代表的な障害と看護 第4大腿骨頸部骨折の看護 ・事例展開 (11 時間)			

3 単元名

「高齢者の生活と看護」

4 単元目標

- (1) 高齢者の生活を支える看護について理解するとともに関連する技術を身に付ける。
- (2) 高齢者の生活に関わる多様な課題を発見し、倫理を踏まえて解決策を見いだすことができる。
- (3) 高齢者の生活を支える看護について自ら学び、その生活の質の改善に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

5 単元の指導計画（15 時間）

- (1) 老年看護の特徴…………… 3 時間
- (2) 高齢者のヘルスアセスメント…………… 3 時間
- (3) 健康的な生活を支える看護…………… 3 時間（本時）
- (4) 薬物治療を受ける高齢者の看護…………… 3 時間
- (5) 高齢者の終末期看護…………… 3 時間

6 本時の目標

- (1) 高齢者の清潔状態、清潔習慣や行動をアセスメントし、皮膚障害の予防を含めて、状態に応じた適切な看護援助の方法を主体的に考えようとしている。
- (2) 先入観をもたず、高齢者の生活に関わる多様な課題を分析して解釈し、自分の考えを表現することができる。

- (3) 高齢者の身体の特徴を踏まえ、皮膚・粘膜の防衛機能の低下に伴う感染予防の視点から使用薬物の適正化、医療器具に適した濃度の消毒薬の希釈方法について計算できる。
- (4) 高齢者の健康的な生活を支える看護について理解し、知識を身に付ける。

7 授業展開

家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> 各自で具体的な事例が書かれた課題（ワークシート）に取り組む。授業当日に向けて、課題解決に必要な資料を各自で準備する。
導入 (10分)	<p>授業の概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 本単元の目標を理解し、課題解決型学習の方法とその進め方及び評価規準を確認し、学習の見通しをもつ。
展開1 (40分)	<p>P B L（課題解決型学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ（6～7人）で事前に記入したワークシートを基に根拠を踏まえながら、事例における看護上の問題を発表し、グループで情報を共有する。 発表を基にグループで事例における看護上の問題とその根拠を協議して考えをまとめる。 対象の皮膚障害の予防を含め、状態に応じた適切な看護援助をグループで協議し、ワークシートに記入する。 対象の身体の特徴を踏まえ、皮膚の防衛機能の低下に伴う感染予防の視点から使用薬物の適正化、医療器具に適した濃度の消毒薬の希釈方法についての計算問題を解く。 必要があれば、文献検索などパソコン室や図書室の活用を可とする。
展開2 (50分)	<p>発表会場の準備と発表</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 書画カメラ若しくはタブレット端末とプロジェクターを繋ぎ、発表の準備をする。 発表時間は1グループ5分以内とし、終了時間はタイマーで知らせる。 発表の進行は代表生徒2名で実施、質疑応答は時間内で行う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 各グループで発表原稿をまとめ、時間内に課題学習の結果を発表する。 発表者は、可能な範囲で原稿を見ないで自分の言葉で表現できるようにする。 他者の意見から自己の学びに不足がないか確認し、学びを共有する。 発表後は数学、理科等の教員から課題学習に対し、助言をもらう。
展開3 (30分)	<p>学習内容の統合</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の身体活動や精神的社会的な活動の特徴を踏まえ、さまざまな健康状態にある高齢者がより健康的に生活できるための看護の知識と技術について説明を受ける。 高齢者の健康的な生活を支える看護について自己の考えと看護の知識を比較しながら確認し、ワークシートへ要点を補足する。 専門科目だけでなく全ての科目を関連付け、統合化を図る。
まとめ (20分)	<ul style="list-style-type: none"> 本時の授業を振り返り、ルーブリックを基に自己評価を記入する。

8 評価

- ・知識の定着状況については、定期考査で評価を行う。
- ・PBLに関する評価は、振り返り用紙とルーブリックを用いて評価を行う。

表1-1 関心・意欲・態度に関するルーブリック評価

A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 少し努力を要する	D 努力を要する
高齢者の清潔状態に応じた適切な看護援助の方法について高い関心を持ち、皮膚障害の予防を含め対象の健康的な生活を支える看護について考えることができる。	高齢者の清潔状態に応じた適切な看護援助の方法について関心を持ち、皮膚障害の予防を含め対象の健康的な生活を支える看護について考えようとしている。	高齢者の清潔状態に応じた適切な看護援助の方法について関心が低く、対象の健康的な生活を支える看護について家庭学習が不十分である。	高齢者の清潔状態に応じた適切な看護援助の方法について関心がなく、対象の健康的な生活を支える看護についても関心がない。

表1-2 思考・判断・表現に関するルーブリック評価

A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 少し努力を要する	D 努力を要する
事例からさまざまな健康状態にある対象の生活に関わる課題を見だし、高齢者の生活の質の改善に向けた看護援助について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	事例からさまざまな健康状態にある対象の生活に関わる課題を見だし、高齢者がより健康的に生活できるための看護援助について考察し、その結果を適切に表現している。	事例からさまざまな健康状態にある対象の課題を一部見だし、教科書を基に一般的な看護援助の方法を表現している。	一般的な高齢者の身体活動及び社会的精神的特徴を基に課題を見いだすことができない。事例に即した多様な課題や看護援助の方法が表現できていない。